

栃木県

1. 商品名等

商品名	いちご焼き		
商品写真(イメージ等)		商品説明(コンセプト等)	
		いちご焼きは、白い生地と、赤い生地の2種類で販売することになりました。白いいちご焼きは、もちもち感のある白いたい焼き粉の生地、いちご配合25%のいちご餡で販売することになりました。赤いいちご焼きは、食紅で着色した赤い色の生地、いちごカスタードを入れ販売することになりました。	

2. 学校紹介

学校名	栃木県立鹿沼商工高等学校	電話	0289-62-4188
住所	栃木県鹿沼市花岡町180-1	FAX	0289-63-0710
担当者	諏訪登志男	金子安行	郷間啓史
URL	http://www.kanumashoko@tochigi-edu.ed.jp		
E-mail	kanumashoko@tochigi-edu.ed.jp		

本校は明治42年4月、上都賀郡立農林学校として開校し、その後、栃木県立鹿沼農商高等学校の変遷のなか、現在、栃木県立鹿沼商工高等学校として今年度創立110周年目を迎える歴史ある学校です。これまでに卒業生は25,919名を数え、産業界はもとより、社会の指導的役割を担う有益な人材を多数輩出してきました。今後も社会及び地域経済の発展に寄与する工業人、商業人の育成に努めます。

平成31年度から、1学年は全日制情報科学科(工業科)1クラス、商業科3クラス、定時制商業科1クラスで構成され、1クラスの定員は40名です。商業科は資格取得への取り組みを積極的に進めており、簿記や情報処理、珠算・電卓、ビジネス文書(ワープロ)、商業経済などの資格取得を目指す学習を通して、専門知識や技能の深化を図って、進路実現に結びつけています。

3. 実施科目等

科目名	課題研究(2単位) 商業部	単位数	2単位
対象生徒	商業科	担当教員数	3名

4. 予算関係(費用)

創立110周年記念事業。鹿沼市6次産業化推進協議会補助金

5. 開発経緯等

鹿沼商工高校はこれまでに鹿沼市、鹿沼商工会議所、鹿沼菓子製造組合と連携して「美たまるカステラ」、「カヌンド」の菓子を開発販売し鹿沼市の名産品作りに携わってきました。これまでの取り組みを糧に、単にアイデアを出して、企業様に商品化して頂く取り組みではなく、生産から販売までを行うことができる商品の開発、いちご市を宣言している鹿沼市、いちご王国を宣言している栃木県に相応しい新たないちごに関する名産品を開発販売することを目標に研究しました。

インターネットでの状況分析の結果、いちごに関する商品はたくさん商品化されていることが分かりました。しかし、実態調査した結果、いちごを使用した商品は、いちごの味の商品があっても、いちごの形をした商品が無いことが分かりました。そこで、いちごの形をした商品が無いことから、いちごの形をした商品を開発すれば、名産品への第一歩を踏み出せるのではないかと考えました。私たちが生産から販売までを行う、いちごの形をした新商品の開発を実現することにより、栃木県や鹿沼市に貢献できると考えました。

いちごの形をした商品について聞き取り調査結果を持ち寄り検討した結果、いちご最中、いちご羊羹、いちご水羊羹は開発が難しいことが分かりました。しかし、いちご焼きについては、新しいいちごの商品として開発が可能であることが分かり製造販売に着手することにしました。

いちご焼き器の製造、いちご焼きの生地・中身の試作を経て、いちご焼きの販売を行いました。販売は3回行われ全て完売し購入者から高評価を得ることが出来ました。

6. 販売形態・期間

①
無

鹿沼市6次産業化推進協議会のイベントに参加し販売

7. 協力者等

①
・
無

鹿沼市6次産業化推進協議会

8. 商標登録の有無

①
無

意匠登録申請中

9. 今後の課題・展望等

いちご焼きの常設販売。いちご焼きの意匠登録はいちご饅頭を想定しているのでいちご饅頭の販売を推進する